

## 見守り業界のリーディングカンパニー【ミマモルメ】 「欠席遅刻管理機能および連絡網アプリ」の1年間無料キャンペーンを実施 ～『新型コロナ対応』学校・保護者間の連絡手段のデジタル化推進をお手伝いします～

阪急阪神ホールディングスグループの株式会社ミマモルメ（本社：大阪市福島区、社長：小坂光彦）は、かねてより、【登下校ミマモルメ】のサービスとして、保護者の方からの欠席遅刻等の出欠連絡を専用サイトやアプリ上で受け付ける「欠席遅刻管理機能」や緊急時のお知らせ等を全校生徒に配信できる「メール連絡網アプリ」、お子様の登下校情報を通知する「登下校メール」を全国の学校に提供しておりますが、この度、「欠席遅刻管理機能および連絡網アプリ」の1年間無料キャンペーンを実施します（本日から受付開始）。この取組みにより、学校現場における教職員の働き方改革や、学校・保護者間の連絡手段のデジタル化等（2020年10月22日文科科学省から各教育委員会等へ通達）の推進を目指します。

本キャンペーンの概要は次のとおりです。

### ■キャンペーン概要

- ①キャンペーン適用となるサービス：「欠席遅刻管理機能および連絡網アプリ」
- ②受付期間：2020年12月4日（金）～2021年12月28日（月）
- ③料金：初期登録料 無料  
月額利用料 無料（通常：15,000円）  
※ 2021年4月～2022年3月末ご利用分（契約月以降）
- ④受付方法：当社HP内の問合せフォームから資料のダウンロードを行い、申込書など必要書類をご提出ください。  
<https://www.hanshin-anshin.jp/inquiry/>
- ⑤対象：小学校、中学校及び高等学校 ※ その他の学校に関しては、お問い合わせください。

### ■【登下校ミマモルメ】サービス概要

- ①欠席遅刻管理機能 <キャンペーン対象>  
保護者の方からの欠席や遅刻等の連絡への対応を円滑にするためのシステムを提供するサービスです。あらかじめ設定された受付時間までに、保護者の方がスマートフォンアプリや専用サイトから学校へ連絡することで、先生が生徒の出欠状況をデータで簡単に把握できます。毎朝の欠席等の電話連絡が無くなることで業務負担を軽減します。
- ②メール連絡網アプリ<キャンペーン対象>  
緊急時のお知らせなどを全校生徒や教職員宛てに一括で行えるメール配信サービスです。クラスや学年ごとの配信、開封確認機能やアンケート機能、添付ファイル送信機能などのメール配信に関するオプション機能も充実しております。  
※ 欠席遅刻管理機能を導入するためには、メール連絡網アプリの導入が必須です。
- ③登下校メール<キャンペーン対象外：希望校のみオプション>  
学校に設置させていただく機器（通常は校門に設置）の上をお子様が無事通過された際に、保護者の方へリアルタイムで通知するサービスです。学校に設置する設備は全て弊社が手配し、費用を負担します。  
※ 任意で加入する有料サービスです。

### ■特徴

- ①万全のサーバ保守管理と高速メール配信システムで安定したサービスを提供  
教育委員会や学校と保護者間の連絡手段は、安定性や信頼性が求められます。  
災害時等に利用が集中しても滞りなくサービスを稼働させ、高速メール配信システムを用いて保護者の方に情報を届けられるように、弊社グループのインフラ事業で培ったサービスの運用・保守管理のノウハウを生かしています。

②高いセキュリティと業務軽減を両立したサービス

一人ひとりに専用のID票（ログインIDとパスワード）を発行し、セキュリティを確保しながら、ユーザ登録や削除、ID票の発行および再発行、保護者の方からの問合せ対応を弊社で行うことで、教育委員会や学校の業務軽減に貢献します。



(ID票イメージ)

③学校現場に最適なサービスを提供

全国約1,500校の学校現場や約50万人のユーザーの声を取り入れて、システムの改善を繰り返すことで、最適なサービスを提供します。



(欠席遅刻管理機能：保護者登録イメージ)

欠席・遅刻理由をプルダウン形式で選択  
※選択肢は学校で事前にご指定いただけます。



(欠席遅刻管理機能：学校管理者サイトイメージ)

■キャンペーン終了後の利用料金（税抜）

①登下校メール導入校 月額 5,000 円 ※欠席遅刻管理機能および連絡網アプリ+登下校メール

②登下校メール未導入校 月額 15,000 円 ※欠席遅刻管理機能および連絡網アプリのみ

※ キャンペーン終了前に改めて継続手続きについてご案内いたします（キャンペーンのご利用から継続してご契約の場合、初期費用は発生しません。）。

**(参考1) 株式会社ミマモルメの概要**

- 1 本 社 大阪市福島区福島3丁目14番24号
- 2 資 本 金 1億円 (阪神電気鉄道株式会社100%出資)
- 3 設 立 2017年8月8日
- 4 代 表 者 代表取締役・社長 小坂 光彦
- 5 事 業 内 容 あんしん事業 (ミマモルメ)・教育事業 (プログラボ)
- 6 ホームページ ミマモルメ <https://www.hanshin-anshin.jp/>  
プログラボ <https://www.proglab.education/>

**(参考2) 株式会社ミマモルメが提供するサービス****(1) 「登下校メール」の概要**

「登下校メール」は、これまで関西地区を中心に、**21都府県の小・中・高等学校**に導入するなど、順調に事業を拡大してきました。

この結果、「登下校メール」に加え、その技術を応用して街全体を見守る「まちなか ミマモルメ」を含めた「ミマモルメ」の導入校数は**1,500校を超え、ICタグ利用者数は28万人を突破**しました。

- 1 名 称 「登下校メール」
- 2 内 容 ICタグを持った子どもが校門を通過すると、保護者の携帯電話に通過情報をメールで送信します。
- 3 特 長
  - ① 導入する学校に、費用負担はありません。学校に設置する設備については、全て当社が手配し、費用を負担します。また、保護者と直接契約し、保護者への説明会、問合せ、利用料金の収受等、当社又は代理店が保護者への対応を行います。
  - ② ハンズフリーの無線ICタグを用いることによって、子どもに負担をかけません。また、ランドセルに入れるタイプのタグを用いますので、誰がサービスを受けているかは分かりません (サービスを受けられる方の匿名性が保てます)。また、無線ICタグを持った子どもが、ミマモルメの設備が設置された他の小学校、他の施設に行ってもメールが送信されます。

**(2) 「まちなか ミマモルメ」の概要**

- 1 名 称 「まちなか ミマモルメ」
- 2 内 容 登下校メールのノウハウを活かし、これまでの校門・塾・高齢者施設・マンションだけでなく、「まちなか」に利用シーンを展開させたものです。これまでのメールのみのお知らせから、新たに、アプリによる検知箇所の通過履歴の閲覧やプッシュ通知が加わり、お子様の居場所を把握することができます。
- 3 特 徴 BLE (Bluetooth Low Energy) を用いていますが、「まちなか ミマモルメ」では、その利用の簡便性が故に存在するセキュリティの脆弱性に対して、独自セキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが最大の特長です。
- 4 導入事例
  - ① 伊丹市  
市内約1,200か所に「安全・安心見守りカメラ」と「まちなか ミマモルメ」受信器を設置し、お子様を見守っています。
  - ② 長岡京市  
市内約200か所に防犯カメラと受信器を設置し、お子様を見守っています。

### (3) 「ミマモルメ GPS サービス」の概要

#### 1 名称 「ミマモルメ GPS サービス」※ 2021年2月から順次新サービスとして提供

端末はコンパクトで持ち歩きやすい大きさ！



33mm × 57mm × 15mm / 重量：34g

アプリを開くだけでカンタン位置表示！



利用イメージ

#### 2 内容

日本版GPS衛星の「みちびき」など対応衛星も複数対応し、更に補助的に「Wi-Fi」「携帯基地局」による測位を行うことで、高精度な位置情報の取得が可能になりました。また、一定頻度で位置情報を取得し、移動履歴の表示も可能（※）となったため、既存の登下校メールサービスと組み合わせることで、学校の出入りを確実に把握したうえで、お子様の現在地を安心して見守ることができます。

※ アプリ上で履歴確認モードと手動検索モードを選択することが可能です。

#### 3 特徴

##### ① お子様の位置情報がひと目で分かります

アプリを開くだけで、最新の位置情報が把握できます。同じ地図上できょうだいを一度に確認できて便利です。

##### ② 選べる検索モード ※「履歴確認モード」は新機能

検索方法は、「履歴確認モード」又は「手動検索モード」の2種類からお選びいただけます。「履歴確認モード」は、位置情報が一定間隔で更新され、移動履歴を確認することができます。「手動検索モード」は、検索ボタンを押すたびに、現在の位置情報を確認することができます。

##### ③ 設定したエリアの出入りを通知

習い事などでよく行く場所を通知場所として、事前に登録しておくことができ、通知場所の出入りのお知らせが届きます。エリア自動生成機能もあり、1か月ほどGPS端末を携帯すると、よく行く範囲を自動で学習し、そのエリアから離れた際はお知らせが届きます。

##### ④ 登下校ミマモルメとの併用でもっと安心

GPSサービスの「GPS端末」と登下校ミマモルメの「ICタグ」を一緒に携帯することで、セーフティゾーンである学校への出入りをより確実に見守ることができます。

#### (4) 「登降園 ミマモルメ」の概要

- 1 名称 「登降園 ミマモルメ IC タグ登降園管理システム」
- 2 内容 門への機器設置、システムの導入により、園児の鞆等に入れたICタグの門通過情報を自動で読み取って、出欠管理や延長保育の時間管理等を自動で行います。
- 3 システム概要



#### 4 特 徴

- ① 自動読取方式のICタグを用いているため、カード式のようなタッチが不要
- ② 門・玄関を通過しただけで、登降園時間が自動登録されるため、正確な時間管理が可能
- ③ 自動集計で延長保育管理が可能で、時間帯別の料金設定もできるため、保護者への請求書発行や自治体への各種申請が自動化され、園の管理者負担が軽減可能

#### 5 導入園数

約130園

#### 6 システム導入費用

工事費見積りのうえ、個別にご相談させていただきます。

### (参考3) ロボットプログラミング教室「プログラボ」の概要

- 1 教育理念 私たちは、ロボット・プログラミング教育を通じて、未来を担う子ども達の「夢を実現するチカラ」を育みます。

「夢を実現するチカラ」とは

- ① 学びに対する喜び・意欲

知識と論理的な思考方法を身につけ、それを実践することで、学ぶ喜びを体感し、意欲的に学ぶ姿勢、問題解決力を養います。

- ② 視野や興味の幅を広げ、それを深く追求する心身のまわりのさ

まざまな物事に興味を持つ好奇心と、興味を持った物事に対して深く掘り下げる探究心を育みます。

- ③ 自らの力でやり抜く精神

失敗を恐れず、試行錯誤を重ね、主体性と最後までやり抜く力を育てます。

- 2 対象者 年長～中学生

- 3 内容 主に教育版レゴ® マインドストーム® EV3を用いて、モーターや各種センサーを使ってロボットを組み立て、ビジュアルアイコンを使ったソフトウェアでプログラミングを行います。

- 4 料金体系 (2020年度から、入会金、教材費は不要)

コース	授業時間	月額料金(税抜)
ビギナー (対象: 年長～小学2年生)	50分×月3回	9,800円
スタンダードⅠ (対象: 小学1～3年生)		
スタンダードⅡ (対象: 小学3年生～中学生)	90分×月3回	12,500円
アドバンスⅠ (対象: スタンダードⅡ修了者)		
アドバンスⅡ (対象: アドバンスⅠ修了者)		
アドバンスⅢ (対象: アドバンスⅡ修了者)		
エクスプローラ (対象: アドバンスⅢ修了者)		13,500円

### 5 実績

#### (1) 教室授業

2016年4月に夙川校及び野田阪神校を開校。現在、関西圏に20校と東京都内13校を含む関東圏に15校、その他、北海道、福岡、大分を合わせて全国48校を展開し、約4,500名の生徒が在籍しています。

#### (2) 出張授業・校内教室

2016年度から、公立・私立の小学校を中心に延べ80校を超える学校で出張授業を実施してきました。私立小学校では放課後の学内での習い事としても導入されており、関西圏では雲雀丘学園小学校を始め8校の校内教室を運営しています。

#### (3) 自治体でのプログラミング教育導入支援

大阪府交野市の全公立小中学校でプログラミング教育導入の準備を支援しています。

これは2020年度からのプログラミング教育の必修化を見据え、新学習指導要領に基づく年間指導計画の立案や、それに沿ったプログラミング教育支援を行うものです。

また、大阪市においても2017、18年度の2年間、「プログラミング教育推進事業」の協力会社の1社に選定され、小学校での出張授業を行ってきました。

※ 参考プレスリリース <https://www.hanshin.co.jp/company/press/detail/1962>

以 上

